

助成事業の実績等検証報告書の作成に伴う 令和 3 (2021) 年度の主な変更点及び新規制度について

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、当機構が実施している助成事業のうち、「東京芸術文化創造発信助成」及び「芸術文化による社会支援助成」について、これまでの 実績と成果及び今後の課題の検証を行い報告書にまとめました。

*参照: [「東京芸術文化創造発信助成」「芸術文化による社会支援助成」の概要と実績(2012-2018 年度) 一成果・課題・今後に向けて一]

URL: https://www.artscouncil-tokyo.jp/uploads/2021/04/2021_grants_2012-2018_verification-report.pdf

上記報告書で抽出された課題に対応するため、令和 3(2021)年度に助成制度の改善及び新たな助成プログラムの設置を行いました。主な変更点と、上記報告書における課題との対応は以下のとおりです。

[東京芸術文化創造発信助成]

- ■課題:短期スパンの事業に対応するための、より柔軟でスピーディーな資金的支援(報告書11頁)
- ◆対応:「スタートアップ助成」の新設
- ○新進の芸術家、芸術団体を対象とし、年に4回程度の公募を行う新たな助成プログラム
- ○助成上限額は、助成対象経費の合計額の範囲内で、個人30万円、団体100万円
- *参照: 「令和 3(2021)年度 第1回 スタートアップ助成」公募ガイドライン

 $URL: \underline{https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/startup-grant-program/46048/2000. A transfer of the action of the following the follo$

- ■課題:中間支援型活動のより効果的支援:①プロデュース機能のある劇場やフェスティバル等、プラットフォーム型の中間支援組織への支援強化、②芸術創造環境の課題に取り組む活動の支援強化(報告書12頁)
- ◆対応①:「東京芸術文化創造発信助成(長期助成)」において、助成対象となる事業内容に、従来の芸術創造活動を主とするクリエーション型活動に加えて、「企画制作活動を主とするもの(クリエイティブ・プラットフォーム型)」の活動を増設
- *参照:「令和 3(2021)年度 東京芸術文化創造発信助成 カテゴリー II 長期助成」公募ガイドライン URL:https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/tokyo-grant-program/45872/

- ◆対応②「東京芸術文化創造発信助成」の中で「芸術創造環境の向上に資する事業」を独立させ、 カテゴリーⅢとして審査基準を別に定めた。
- *参照:「令和 3(2021)年度 東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業」公募 ガイドライン

URL: https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/tokyo-grant-program/45873/

- ■課題:芸術分野の特性に応じた支援(報告書12頁)
- ◆対応:伝統芸能分野に特化した支援策として、新たな助成プログラム「伝統芸能体験活動助成」を 開始した。
- *参照:「令和 3(2021)年度 伝統芸能体験活動助成」公募ガイドライン
 URL: https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/traditional-arts-practice-grant-program/46067/
- ■課題:助成金以外の支援方法(報告書 13 頁)
- ◆対応:アーツカウンシル東京では、これまで、芸術文化創造活動の課題解決及び目標達成に必要な思考力やスキルを多面的に磨くキャパシティビルディング講座「アーツアカデミー」を開講してきたが、これに加え、令和3年度より新たに「アーツアカデミー経理講座(仮称)」を開講する。
- *参照:2021 年度 アーツアカデミー

URL: https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/education/arts-academy/46839/

[芸術文化による社会支援助成]

- ■課題:助成額の増加や長期助成の設置(報告書 19 頁)
- ◆対応①:「芸術文化による社会支援助成 |の助成上限額を 100 万円から 200 万円に増額した。
- ◆対応②:長期的視点を持つ活動を積極的に支援するため、現行の「芸術文化による社会支援助成」において、申請事業を含む2年間又は3年間の計画を有し成果を期待できる事業には、最長3年間まで優先的に支援する方針を新たに設けた。
- *参照:「令和 3(2021)年度 第 1 期 芸術文化による社会支援助成」公募ガイドライン URL:https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/what-we-do/support/grants/social-grant-program/45874/

(以上)